

# いわみの

(益高だより)

2019年度 9月号  
(第137号)

令和元年9月20日

島根県立益田高等学校

## ■令和元年度益高学園祭を終えて

生徒会担当 林 信悟

生徒会執行部を先導に生徒と教職員が一丸となり、今年度の学園祭を滞りなく終えることができました。そして、PTA バザーやポスター掲示、グラントワを使用しての催し物など、保護者や地域の方々のご理解とご協力に心から感謝いたしますとともに、厚く御礼申し上げます。

今年度、前期生徒会執行部発足時に掲げたテーマは「地域とのつながりを大切にしよう」です。学校が誰のためにあるのか、また地域の中で果たすべき役割について生徒自身が考えを深めていきたいという想いがありました。結果、学園祭のテーマは『虹』に決まりました。生徒と教職員、そして地域が一丸となって学園祭を創り上げていくという想いに加え、皆それぞれがカラーを持ち合わせており、それを安心して発揮してほしいという意味合いが込められています。このテーマのもと、学園祭オープニング企画や地域の方に喜んでもらえるような内容にするなど精力的に動いていました。

さて、この書面を借りて生徒の活躍を振り返りたいと思います。3年生演劇部門では3年3組、応援合戦では2年4組を中心とする緑組、1年生合唱部門では1年4組がナンバーワンでした。結果的に順位はつきましたが、どのクラスも色組も、ゼロからそして準備期間も十分とは言えない中で自分たちらしい作品をしっかりと創り上げていました。皆でこれまで積み上げてきたものや努力してきたこと、考え悩み、時にはクラスメイトや先生と衝突もしながら、最後に皆で一つの答えを表現したこと、このことの価値を高く評価したいと思います。

おわりに、生徒の皆さん。正解のない学園祭を通じて、どれだけ自分と向き合い、自分を表現することができましたか。正直、運営側の私もどのやり方が正しかったのか分かりません。当然ですよ、もうこのご時世正解なんてないのですから。ただこれだけは言えると思います。学園祭は第1に生徒のためにあります。だから生徒がもっと前面に出て、考え、行動してもいいと思います。来年度、もっと生徒のための学びとなるような、そして生徒自身が面白いと思えるような学園祭になることを期待し、終わりにしたいと思います。



## ■生徒（責任者）の声 《体育祭》

### 緑組

総合優勝、応援1位、デコ1位

組長：両見 颯真 (3-2)

緑組組長両見颯真です。自分は本当に頼りない組長でしたが、みんなのおかげで体育祭優勝させてもらいました。2年生は応援合戦・デコレーションと大変だったと思いますが、最高のパフォーマンスだったと思います。人生で一番楽しい学園祭でした。みなさん本当にありがとうございました。

応援：三好 茉和 (2-4)

今回の体育祭でクラス全体の距離がとても縮まったと思います。応援合戦の構成や、ダンスの振り付けなど、みんなで意見を出して決めることができましたし、1年生も私たちのノリについてきてくれました。そのおかげで私は応援責任者という立場で楽しんですることができました。ありがとうございました。緑組最高！！

デコレーション：中島 孝文 (2-4)

学園祭を通して、まず感じたことは楽しかったということです。3年生の演劇をはじめ、1年生の合唱コンクール、体育祭とすべて楽しむことができました。また、デコ責任者としてみんなを引っ張っていく中で、みんながアドバイスをくれたり、積極的にやってくれたりと助かることが多く、感謝しています。ありがとうございました。

### 赤組

総合2位、応援3位、デコ3位

組長：河井 奈南 (3-5)

今年の体育祭で赤組は惜しくも優勝を逃しましたが、全国で2番目に暑い気温の中、無事体育祭を終えることができたので良かったです。男女平等が重要視される現代社会においてより多くの女性が活躍できる場が必要です。運動、勉強ができなくてもやる気があればリーダーになれます。来年も女子組長が出ることを期待しています。

応援：吉田 宗太 (2-2)

僕は、初めは応援責任者として何をしたらよいか分からず不安でした。しかし、クラスメイトが応援の構成を考えている姿を見て、自分もやらなければならないという気持ちになりました。今年の体育祭を通じて、仲間の大切さをしみじみと感じました。

クラスメイトのみんなには本当に感謝しています。ありがとうございました。

デコレーション：棕木 碧唯 (2-2)

自分たちは「百華繚乱」というテーマのもとデコを描きました。構図が凄く細かったので、描いていてトラブルも起こりました。締め切りに間に合いそうにないときに、応援担当の人たちも協力して手伝ってくれました。クラスのみんなには感謝しかありません。1位はとれませんでした。みんなで楽しく活動できて良かったです。

### 青組

総合3位

組長：桐木 尊 (3-3)

3位という結果に終わってしまい、少し悔しい気持ちが残っています。3年生にとっては高校生活最後の学園祭でしたが、これからの受験に向けて、より一層チームワークが高まったと思います。「虹」のスローガンのもと、みんなで学園祭を楽しめたことが一番良かったと思います。

応援：原納 祥暢 (2-1)

私たち青組は、体育祭の準備期間中には皆が一つになることができず、不安な気持ちになることもありました。しかし、体育祭が近づくにつれてみんなの気持ちも高まり、当日、ハプニングはあったものの、良い応援をすることができました。賞はとれなかったものの、良い経験をするすることができました。

デコレーション：三輪 純汰 (2-1)

今回の体育祭でデコ責任者として賞を取ることができなかったのは残念ですが、それ以上に準備期間等を通して一体感が深まってとても良かったです。また周囲の方々から素晴らしい絵だったと言ってもらえることができるととても嬉しかったです。こういった経験をするのはなかなかないと思うので、貴重な時間でした。

### 黄組

応援2位、デコ2位、

組長：篠岡 慎之介 (3-4)

黄色は、全学年それぞれに個性があって、体育祭を盛り上げてくれました。1・2年生の応援は、声がいっしょに出ている、動きも揃っていて格好良かったです。3年生は、クラスみんなで一丸となって体育祭を実施できたことが、自分にとっても大切な思

い出になりました。高校最後の体育祭、あつという間で本当に楽しい時間でした。

#### 応援：大野 弥生 (2-5)

私たち黄組のテーマは、皆を笑顔にしたいという思いを込め、「燦 SUN」でした。しかし、先生方、保護者、地域の方、先輩方、また色組を超えて温かい声援を送ってくださったことで逆に力をもらい笑顔になりました。また1・2年全員で最後まで全力を出し切ることができ最高の体育祭になりました。ありがとうございました。

#### デコレーション：桐木 ころろ (2-5)

私たち黄組のテーマは「燦～sun～」でした。このテーマには「太陽のように明るく輝く」という意味が込められています。実際、完成したデコも今までにないような明るくポップな作品ができたと思います。デコ長として貴重な経験を得たこと、積極的に作業してくれたクラスの仲間感謝しています。ありがとうございました。

### 紫組

#### 組長：中島 陸 (3-1)

自分自身はこれまで、中心に立って何かをやり切るといふ経験はなく、この学園祭を通してみんなを上手くまとめることは正直できませんでした。しかし、自分なりに大きい声も出し、精一杯色組責任者として頑張ることができました。1、2年生とも隔たりなく協力してこの学園祭を盛り上げることができて、本当に良かったです。

#### 応援：桑原 尽 (2-3)

僕は今年の学園祭を通して思ったことは、後悔というものとは終わった直後ではなく後から来るものということです。紫組は、放課後練習も頑張り応援の完成度も高くすることができていたのに、「デコやテーマとリンクさせる」といった点で他の組に劣っていました。ですが、最後まで皆と頑張ることができ、良い思い出となりました。

#### デコレーション：田中 結斗 (2-3)

デコ責任者として皆を引っ張っていったり、上手くまとめることはあまりできなかったと思います。でも、皆と協力して楽しみながら一つの作品を作り上げることができました。結果は残念でしたが、とても貴重な経験をするすることができました。

## ■生徒（責任者）の声《文化祭》

### ◆演劇 ・最優秀演技者賞：佐々木優佳 (3-3)

#### 最優秀賞：源田 照希 (3-3)

みなさん学園祭お疲れさまでした。私たちは「崩壊日和」という題名の演劇をしました。この演劇は、メッセージ性が強く、私達だけで表現できるか不安でしたが、各役者の演技力が高く、本番ではそのメッセージを観客に伝えることができたと思います。ここまで演劇を仕上げてくれた脚本担当者や演出担当者に感謝します。

#### 優秀賞：篠原 由美子 (3-2)

私達は「時を越えて」というタイトルのSFラブコメディを発表しました。タイムマシンや体が透けるなどの非現実的な要素をどのように表現するか、照明・音響と演者のタイミングをどうやって合わせるか、36人で試行錯誤しながら取り組みました。お互いの絆を深め、和やかな雰囲気発表できて良かったです。3-2最高!!!

#### 優良賞：久保 敏 (3-1)

演劇責任者としてクラスをまとめたり、具体的な指示や提案をすることは、自分の力不足によって上手く出来ませんでした。その代わりに自分は、他人の手本となる行動をとることだけを心がけていました。このことが出来ていたのかもわかりませんが、この大好きな3年1組の仲間と演劇を完成させることができて良かったです。

#### 棕 陽南 (3-4)

演劇を通してクラスが一つになることを目指して、準備に取り組んできました。脚本家と演出家を中心に、一人一人が自分の役割を果たすことによって、少しずつまとめることができました。意見が食い違うこともあり前日まで悩みましたが、本番はクラスのみみんなのおかげで悔いのない演劇ができました。

#### 佐々木 真子 (3-5)

3-5の演劇は、はじめはなかなかうまくいきませんでした。台本が完成してからは、ものすごい速さで舞台の完成へと進んでいきました。本番ではちょっとしたハプニングもありましたが、私たちらしい作品をつくることができ、会場を一番沸かせることができたのではないかと思います。学園祭で得た経験をこれからの生活に活かします。

## ◆合唱コンクール

- ・最優秀伴奏者賞：中原 朱理 (1-1)
- ・最優秀指揮者賞：伏谷健太郎 (1-4)

### 最優秀賞：黒目 光姫 (1-4)

私達1年4組は、合唱で最優秀賞を受賞しました。短い練習期間の中で仕上げていくことは本当に大変でしたが、大成功に終わり、とても嬉しかったです。私は合唱部でも音楽選択者でもなく、クラスのみを上手くまとめることができるか心配だったけれど、みんながついてきてくれて本当によかったです。

### 優秀賞：江上 ひな (1-3)

私は今回の学園祭を通して、「仲間」がいることのありがたみを改めて感じました。合唱は共に歌う「仲間」がいるから成り立ちます。忙しい中、練習に励んでくれた3組のみんなには本当に感謝です。最優秀賞まであと一歩及ばなかったけど、このメンバー

で、素敵な「仲間」と一緒に合唱ができて本当に楽しかったです！

### 長嶺 藍 (1-1)

合唱練習が始まるまで、私はみんなをまとめたり、上手く進めていくことができるか心配と不安でいっぱいでした。でも、その不安は一瞬にして消えました。それは、クラスのみんなが協力的で一生懸命だったからです。みんなが一つとなって素敵な歌声を届けることができ、満足のいく発表になってよかったです。

### 大井 美侑 (1-2)

私達1年2組はこの合唱コンクールを通して、クラスの絆を深めることができました。賞は何もとることができませんでしたが、私達の中では2組が一番です。そう思えるくらい満足のいく演奏をすることができました。悔いは一切ありません。応援してくださった方々、本当にありがとうございました。

## ■ 10月行事予定

日	曜	10月	日	曜	10月
1	火		17	木	関西実習ポスターセッション
2	水		18	金	
3	木	生徒総会・防災避難訓練②	19	土	土曜特別補習⑥ 3年全統記述模試
4	金		20	日	
5	土	↑ 土曜特別補習⑤ 英検1次試験 奨学金等進学資金ガイダンス — 3年進駿記述模試 カリキュラム・進路情報共有会	21	月	1, 2年数学課題テスト
6	日	↓ 1, 2年駿台全国模試(希)	22	火	即位礼正殿の儀
7	月		23	水	↑ 2年理数科課題研究中間発表会
8	火	↑ 東京実習	24	木	2年理系・理数科化学課題テスト — 1年保育実習(10/18,23,28,29)
9	水	↑ 関西実習	25	金	
10	木		26	土	↑ 3年全統M模試
11	金		27	日	
12	土	↑ 3年秋期特別補習	28	月	
13	日		29	火	
14	月	↓ 体育の日	30	水	
15	火		31	木	1, 2年英語課題テスト
16	水				

益田高校魅力化  
チームフェイスブック  
益高公認のフェイスブックページ  
始めました！



益田高校ホームページ [www.masuda.ed.jp/](http://www.masuda.ed.jp/)

益田高校フェイスブック <https://www.facebook.com/masuda.hs/>